

着色尿

尿の色がおかしい、と思う場合はいろいろな状況があります。

多くの方がまずは血尿を思い浮かべると思いますが、実は血尿は「赤い」だけではなく、黒みを帯びたり、緑っぽく見えたりする血尿もあります。他に病気で尿の色に異変が出るのは、尿路感染症で尿が白濁する場合があります。腎臓や泌尿器の病気以外にも、ヘモグロビンやミオグロビンという体内の物質が尿に出ている時に赤色や褐色になる場合があります。

また病気以外にも、飲食物に含まれる色素や内服薬の影響を受ける場合があります。あとは物理的な条件で、尿中に普通に含まれる物質が見える場合があります。例えば「おむつの中に赤い（オレンジ～レンガ色）粒が見える」と相談をうける場合の原因として尿酸塩は有名です。寒い日に尿中の成分が析出して尿が白く濁ることもあります。これらは問題ないことが多いですが、ごく稀に代謝疾患が見つかる場合があります。病気かどうか、状況から判断がつく場合もありますが、難しいことも多いので主治医の先生に相談しましょう。